

日本超音波医学会 第 61 回東北地方会学術集会

日 時 : 令和 3 年 3 月 7 日 (日) 9 時 00 分 ~ 17 時 20 分
場 所 : Web 開催
大 会 長 : 宮城県立がんセンター 消化器内科 虻江 誠
参 加 費 : 1,000 円
参加登録期間 : 令和 3 年 2 月 1 日~2 月 28 日 (コンビニ払いは 2 月 20 日まで)
地方会 URL : <http://www.ecei.tohoku.ac.jp/~jsum/>
連 絡 先 : 〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47-1
宮城県立がんセンター 消化器内科内
日本超音波医学会第 61 回東北地方会学術集会事務局
E-mail : jsum@ecei.tohoku.ac.jp

講演者へのお願い

【発表時間】

- 一般演題 : 1 題につき発表時間 8 分, 討論時間 4 分の合計 12 分間
 - 症例報告 : 1 題につき発表時間 7 分, 討論時間 3 分の合計 10 分間
 - 奨励賞審査セッション : 1 題につき発表時間 8 分, 討論時間 6 分の合計 14 分間
- * 上記発表時間に座長からの紹介も含まますのでご留意ください。

【発表方法】

○一般講演

- ・発表者は, 発表スライドにナレーション (音声) を入力したファイルを事前に事務局へお送りください。(提出期間: 2 月 15 日~2 月 25 日)
- ・学会当日, 事務局がその音声付発表スライドを発表時に再生します。
- ・質疑は, Zoom のウェビナーにてライブで行ってください。
- ・接続テスト: 2 月 27 日

○奨励賞

- ・学会当日, 発表・質疑共に, Zoom のウェビナーにてライブで行ってください。
- ・接続テスト: 2 月 27 日

座長へのお願い

- ・ご担当のセッション開始時刻の 10 分前までにご入室し, Zoom 機能で「手をあげる」をクリックしてください。事務局がパネリスト昇格を行います。
- ・Zoom 画面の名前を, 氏名 (所属) に入力し直してください。
- ・セッション終了後は, 事務局が Zoom 機能でパネリスト降格を行います。
- ・セッションの進行はお任せ致します。時間厳守での進行にご協力お願い致します。

単位について

- ・筆頭者で発表された超音波専門医, 工学フェローの方には 15 単位(共著者での発表には 7.5 単位), 筆頭者で発表された超音波検査士の方には 5 単位の研修・業績単位が与えられます。
- ・地方会学術集会に出席された超音波専門医, 工学フェローの方には 15 単位, 超音波検査士の方には 5 単位(2015 年~2018 年の各 4 月 1 日に認定された方), 10 単位(2019 年 4 月 1 日以降に認定された方)の研修・業績単位が与えられます。

日程表

第一会場	第二会場
9:00-9:05 開会の挨拶 大会長 虻江 誠	
9:10-9:40 第24回奨励賞審査セッション 座長 志村 浩己 (福島県立医科大学医学部臨床検査医学講座) 小玉 哲也 (東北大学大学院医工学研究科)	
9:45-10:40 消化器Ⅰ 座長 黒田 英克 (岩手医科大学医学部内科学講座) 大山 葉子 (秋田厚生医療センター臨床検査科)	9:45-10:30 奨励賞選考委員会
10:45-11:15 循環器 座長 田代 敦 (岩手医科大学医学部臨床医学講座) 渡部 朋幸 (医療生協わたり病院循環器内科)	
11:20-11:50 大会長レクチャー 講師 虻江 誠 (宮城県立がんセンター消化器内科) 座長 小野寺博義 (宮城県対がん協会がん検診センター)	
12:00-13:00 ランチョンセミナー 共催: キヤノンメディカルシステムズ株式会社 講師 福原 隆宏 (鳥取大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科分野) 座長 今井 隆之 (宮城県立がんセンター頭頸部外科)	12:00-13:00 運営委員会
13:10-14:45 第39回講習会 講演Ⅰ 13:10-13:55 講師 菅野 良秀 (仙台オープン病院消化管・肝胆膵内科) 座長 虻江 誠 (宮城県立がんセンター消化器内科) 講演Ⅱ 14:00-14:45 講師 篠崎 毅 (仙台医療センター循環器内科) 座長 大原 貴裕 (東北医科薬科大学病院地域医療学/総合診療科)	
14:50-14:55 運営委員会からのお知らせ 14:55-15:00 奨励賞表彰式 奨励賞選考委員長 志村 浩己	
15:10-16:05 血液・血管・甲状腺 座長 渡辺 隆紀 (仙台医療センター乳腺外科) 吉澤 晋 (東北大学大学院工学研究科)	
16:10-17:15 消化器Ⅱ 座長 赤羽 武弘 (石巻赤十字病院消化器内科) 幕田 倫子 (福島県立医科大学附属病院検査部)	
17:15-17:20 閉会の挨拶 東北地方会運営委員長 鈴木 眞一	

1. 第24回奨励賞セッション 9:10-9:40

座長 福島県立医科大学医学部臨床医学講座 志村 浩己
東北大学大学院医工学研究科 小玉 哲也

- 61-1 【一般演題】 熱歪みイメージングを用いた強力集束超音波加熱分布推定における定量的評価
小原 望 (東北大学大学院医工学研究科)
- 61-2 【一般演題】 二値化信号を用いた低演算量 generalized coherence factor の開発
久津 将則 (東北大学大学院医工学研究科, 日立製作所)

2. 消化器 I 9:45-10:40

座長 岩手医科大学医学部内科学講座 黒田 英克
秋田厚生医療センター臨床検査科 大山 葉子

- 61-3 【一般演題】 Wide view scanning マイクロコンベックスの初期経験
長沼 裕子 (市立横手病院)
- 61-4 【一般演題】 ワイヤレスポータブルエコーiViz air の使用経験
倉光 泰良 (市立横手病院)
- 61-5 【症例報告】 門脈血栓と脾膿瘍を呈した潰瘍性大腸炎の1例
伊藤日向子 (秋田赤十字病院)
- 61-6 【症例報告】 臨床症状を考える上で示唆に富む虫垂疾患の2例
金 素子 (秋田赤十字病院)
- 61-7 【症例報告】 超音波検査が発見のきっかけとなった空腸ポリープの1例
渡部多佳子 (秋田赤十字病院)

3. 循環器 10:45-11:15

座長 岩手医科大学医学部臨床医学講座 田代 敦
医療生協わたり病院循環器内科 渡部 朋幸

- 61-8 【症例報告】 左室心尖部に巨大血栓を伴ったたこつぼ型心筋症の1症例
八木 秀也 (高の原中央病院)
- 61-9 【症例報告】 CRT の lower rate 設定により機能性僧帽弁閉鎖不全症の重症度が変化した慢性心不全の1例
保科 瑞穂 (日本海総合病院)
- 61-10 【症例報告】 Haemophilus parainfluenzae による非典型的感染性心内膜炎の1例
市丸 直美 (済生会熊本病院)

4. 血液・血管・甲状腺 15:10-16:05

座長 仙台医療センター乳腺外科 渡辺 隆紀
東北大学大学院工学研究科 吉澤 晋

- 61-11【一般演題】** 超音波を用いた赤血球集合度評価のための静脈内エコー輝度分布の評価
深瀬 晶予 (東北大学大学院医工学研究科)
- 61-12【一般演題】** 拍動に伴う頸動脈のビーム垂直方向の変位が粥腫の弾性率計測に及ぼす影響の検討
土師 佑太 (東北大学大学院医工学研究科)
- 61-13【症例報告】** 経過観察により診断し得た TIPIC 症候群 (Carotidynia) の 1 例
松田美津子 (福島県立医科大学付属病院)
- 61-14【症例報告】** 甲状腺ワルチン腫瘍様乳頭癌の 1 例
松本 佳子 (福島県立医科大学医学部)
- 61-15【症例報告】** 甲状腺未分化癌との鑑別に超音波所見が有用であった
甲状腺びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例
二見 徹 (福島県立医科大学付属病院)

5. 消化器Ⅱ 16:10-17:15

座長 石巻赤十字病院消化器内科 赤羽 武弘
福島県立医科大学付属病院検査部 幕田 倫子

- 61-16【一般演題】** 当院における限局性結節性過形成のエコー所見と腫瘍径変化
宍戸友里菜 (石巻赤十字病院)
- 61-17【症例報告】** 肝静脈への早期還流を造影超音波で描出した 1 例
島田 健吾 (秋田赤十字病院)
- 61-18【症例報告】** 35 歳以下の女性肝硬変例の検討—超音波検査の意義を中心に
大山 葉子 (秋田厚生医療センター)
- 61-19【一般演題】** ERCP が困難であった良性主膵管狭窄症例における EUS ガイド下膵管ドレナージの有用性
酒井 利隆 (仙台オープン病院)
- 61-20【症例報告】** 髓外性膵病変により胆管狭窄をきたした多発性骨髄腫の 1 例
松根 秀樹 (宮城県立がんセンター)
- 61-21【症例報告】** 膵腺扁平上皮癌の 1 例
石田 秀明 (秋田赤十字病院)

大会長レクチャー

開催日時：令和3年3月7日（日）11:20～11:50

会場：Web 開催

題目：「膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）」～超音波診断に必要な視点～

講師 虻江 誠 （宮城県立がんセンター 消化器内科）

座長 小野寺博義 （宮城県対がん協会がん検診センター）

第39回講習会 (第61回学術集会併設)

日本超音波医学会東北地方会第39回講習会(第61回学術集会併設)を、下記の要領で開催いたします。講習会に出席された超音波専門医、工学フェロー、超音波検査士の方には**5単位**の研修・業績単位が与えられます。

記

開催日時：令和3年3月7日（日）13:10～14:45

会場：Web 開催

題目Ⅰ：「膵臓超音波検査の基本と応用」

講師 菅野 良秀 （仙台オープン病院 消化管・肝胆膵内科）

座長 虻江 誠 （宮城県立がんセンター 消化器内科）

題目Ⅱ：「心臓の法則、The Starling's law, revised」

講師 篠崎 毅 （仙台医療センター 循環器内科）

座長 大原 貴裕 （東北医科薬科大学 地域医療学/総合診療科）

参加費：1,000円（学術集会参加費とは別途徴収いたします）

ランチョンセミナー

開催日時: 令和3年3月7日(日) 12:00～13:00

会場: Web 開催

共催: キヤノンメディカルシステムズ株式会社

題目: 「よくわかる甲状腺頭頸部超音波検査～頸部の解剖から疾患まで～」

講師 福原 隆宏 (鳥取大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科分野)

座長 今井 隆之 (宮城県立がんセンター 頭頸部外科)

日本超音波医学会東北地方会運営要領

(平成 11 年 3 月 15 日制定)

(平成 18 年 9 月 24 日改正)

(平成 19 年 3 月 11 日改正)

(平成 24 年 3 月 11 日改正)

(平成 26 年 9 月 21 日改正)

(平成 27 年 3 月 8 日改正)

(平成 28 年 3 月 13 日改正)

(平成 30 年 10 月 14 日改正)

第 1 章 総 則

第 1 条 本会は日本超音波医学会東北地方会と称する。

2 本会の事務局は、福島市におく。

3 本会は日本超音波医学会の地方会として、超音波医学の進歩普及を図り、もって学術の発展に寄与することを目的とする。

4 本会に所属する地域は東北地方 6 県とする。

第 2 章 会 員

第 2 条 本会の会員は、在職者については勤務先が、非在職者については居住地が、学生会員については学校の所在地が、第 1 条 4 項の所属地域にある公益社団法人日本超音波医学会会員とする。

第 3 章 運営委員会および総会

第 3 条 本会は事業の円滑な運営を図るため、運営委員会を組織する。

2 運営委員会は、運営委員若干名（うち運営委員長 1 名）、幹事若干名および監事若干名で構成する。

3 運営委員会の議事は、運営委員の出席者の過半数をもって決定する。

4 運営委員会は、財務担当の運営委員を置き、本会の経理を行い、年度毎に会計報告を担当理事を通じて超音波医学会理事長に報告する。

5 幹事は運営委員長および運営委員の業務を補佐する。

6 監事は会計を監査する。

7 総会は年 1 回、運営委員長が召集し開催する。ただし運営委員長が必要と認めた場合には、臨時総会を開催することができる。

8 運営委員会および総会の議長は運営委員長がこれに当たる。

9 運営委員長は、準会員を運営委員会にオブザーバーとして出席させることができる。

第 4 章 運営委員、幹事および監事と運営委員長の選任および任期と年齢制限

第 4 条 次期運営委員、幹事および監事は、日本超音波医学会の正会員である本会員の中から運営委員長が推薦し、運営委員会の議を経て運営委員長が委嘱する。

- 2 運営委員長は、運営委員の互選により選任する。財務担当の運営委員は、運営委員長が委嘱する。
- 3 運営委員、幹事および監事の任期は2年間とし再任を妨げない。
- 4 任期が始まる年度の4月1日までに65歳に達する者は、運営委員、幹事および監事に就任できない。
- 5 任期中、1度も運営委員会へ出席しなかった者は、再任を認めない。

第5章 経 費

- 第5条 本会の経費は、日本超音波医学会よりの交付金および本会が主催する学術集会等の事業の参加費等によって支弁し、本会会員からの年会費の徴収は行わない。
- 2 本会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

第6章 学術集会

- 第6条 本会は、原則として毎年2回学術集会を開催する。
- 2 学術集会の会長は、その都度運営委員会で選出し、学術集会の運営にあたる。
 - 3 学術集会に関する事項は会誌「超音波医学」に広報し、学術集会における発表抄録（800字以内）は会誌に掲載することとする。
 - 4 学術集会での発表者は、原則として公益社団法人日本超音波医学会会員でなければならない。
 - 5 学術集会の会長の任期は担当の学術集会終了までとする。

第7章 地方会運営委員長会議

- 第7条 本会の運営委員長は、地方会担当理事および各地方会運営委員長によって組織される、地方会運営委員長会議の構成員となる。

第8章 補 則

- 第8条 本会の運営要領を変更するときは、運営委員会で議決し、会員に報告するものとする。

付 則

本会の事務局は福島県立医科大学医学部甲状腺内分泌学講座内、運営事務局は東北大学大学院工学研究科 電子工学専攻内におく。

本運営要領は、平成11年3月15日より施行する。

この要領の改正は、平成18年9月24日より施行する。

この要領の改正は、平成19年3月11日より施行する。

この要領の改正は、平成24年3月11日より施行する。

この要領の改正は、平成26年9月21日より施行する。

この要領の改正は、平成27年3月8日より施行する。

この要領の改正は、平成28年3月13日より施行する。

この要領の改正は、平成30年10月14日より施行する。

日本超音波医学会東北地方会 運営委員会

(任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日)

運営委員長：

鈴木 眞一

特別顧問：

田中 元直， 中鉢 憲賢， 棚橋 善克， 小野寺博義

運営委員：

赤羽 武弘， 虻江 誠， 阿部 倫明， 荒川 元孝， 飯野 貴子， 石垣 泰，
鵜飼 克明， 宇野 篤， 大原 貴裕， 小山耕太郎， 金井 浩， 金谷 透，
鬼平 聡， 黒田 英克， 小玉 哲也， 小松田智也， 西條 芳文， 齋藤 英郎，
齋藤 昌利， 佐藤 和奏， 篠崎 毅， 志村 浩己， 菅原 重生， 鈴木 克典，
高瀬 圭， 高瀬 信弥， 高野 真澄， 高橋 周， 田代 敦， 谷川原真吾，
千田 信之， 堤 誠司， 豊野 学朋， 中島 博行， 長沼 裕子， 西山 悟史，
橋本 哲司， 早瀬 敏幸， 伏見 悦子， 藤森 敬也， 星合 哲郎， 三浦 広志，
皆川 洋至， 矢作 浩一， 山田 雅大， 山本 宣幸， 吉澤 晋， 渡辺さち子，
渡邊 隆紀， 渡邊 哲， 渡邊 博之， 渡部 朋幸

オブザーバー(準会員)：

大山 葉子， 佐久間信子， 丹波 寛子， 藤田 雅史， 堀越 裕子， 幕田 倫子，
三木 俊， 渡邊 誠

財務担当運営委員：

金井 浩

監事：

谷川原真吾， 千田 信之

幹事：

鵜飼 克明， 金井 浩， 小玉 哲也， 西條 芳文 谷川原真吾

奨励賞選考委員長：

志村 浩己

プログラム委員会仙台：

運営委員長， 会計監事， 幹事， 奨励賞選考委員長， 大会長， 次期大会長，
その他 運営委員長が認める者

災害時医療支援活動窓口担当者：

(青森県) 小山耕太郎(岩手県) 黒田 英克(岩手県) 小松田智也(秋田県)
伏見 悦子(秋田県) ◎西條芳文(宮城県) 大原 貴裕(宮城県) 菅原 重生(山形県)
渡邊 哲(山形県) 鈴木 眞一(福島県) 高野 真澄(福島県)

日本超音波医学会東北地方会 学術集会開催地一覧

会期	開催地	開催日	大会長	事務局	抄録掲載学会誌	演題数
第1回	仙台	1991年3月17日	田中元直	東北大学加齢医学研究所	Vol.27, No. 7, 2000	20
第2回	仙台	9月22日	田中元直	東北大学加齢医学研究所	Vol.19, No. 2, 1992	26
第3回	仙台	1992年3月15日	田中元直	東北大学加齢医学研究所	Vol.19, No.11, 1992	32
第4回	仙台	9月20日	田中元直	東北大学加齢医学研究所	Vol.19, No.12, 1992	31
第5回	仙台	1993年3月14日	田中元直	東北大学加齢医学研究所	Vol.24, No. 1, 1997	35
第6回	秋田	9月26日	石田秀明	秋田大学第一内科	Vol.21, No. 1, 1994	19
第7回	仙台	1994年3月20日	田中元直	東北大学加齢医学研究所	Vol.27, No. 7, 2000	23
第8回	盛岡	9月10日	石川洋子	岩手県立中央病院	Vol.24, No. 1, 1997	18
第9回	仙台	1995年3月19日	田中元直	東北大学加齢医学研究所	Vol.24, No. 1, 1997	21
第10回	弘前	9月30日	須藤俊之	弘前大学第一内科	Vol.24, No. 1, 1997	17
第11回	仙台	1996年3月17日	田中元直	東北大学加齢医学研究所	Vol.24, No. 1, 1997	24
第12回	福島	9月15日	佐藤 章	福島県立医科大学産婦人科	Vol.24, No. 1, 1997	17
第13回	仙台	1997年3月23日	田中元直	東北大学加齢医学研究所	Vol.24, No. 1, 1997	27
第14回	山形	9月21日	友池仁暢	山形大学第一内科	Vol.26, No. 6, 1999	22
第15回	仙台	1998年3月22日	田中元直	東北大学加齢医学研究所	Vol.27, No. 7, 2000	22
第16回	秋田	9月27日	三浦 傳	秋田大学工学資源学部	Vol.25, No.10, 1998	22
第17回	仙台	1999年3月14日	田中元直	東北大学大学院工学研究科	Vol.26, No. 6, 1999	29
第18回	盛岡	9月19日	山田宏之	岩手県立久慈病院消化器内科	Vol.27, No. 3, 2000	16
第19回	仙台	2000年3月12日	寺澤良夫	東北大学大学院工学研究科	Vol.27, No. 7, 2000	37
第20回	弘前	9月17日	遠藤正章	弘前大学医学部第二外科	Vol.27, No.10, 2000	18
第21回	仙台	2001年3月18日	仁田新一	東北大学大学院工学研究科	Vol.28, No. 5, 2001	27
第22回	仙台	9月23日	林 仁守	東北大学大学院工学研究科	Vol.28, No. 7, 2001	20
第23回	仙台	2002年3月17日	仁田桂子	東北大学大学院工学研究科	Vol.29, No. 1, 2002	27
第24回	山形	9月21日	金谷 透	東北中央病院循環器内科	Vol.29, No. 6, 2002	25
第25回	仙台	2003年3月9日	棚橋善克	東北大学大学院工学研究科	Vol.30, No. 3, 2003	23
第26回	横手	9月21日	伏見悦子	平鹿総合病院第二内科	Vol.30, No. 6, 2003	24
第27回	仙台	2004年3月21日	小岩喜郎	東北大学大学院工学研究科	Vol.31, No. 3, 2004	30
第28回	福島	9月12日	佐藤 章	福島県立医科大学産婦人科	Vol.32, No. 1, 2005	25
第29回	仙台	2005年3月20日	小野寺博義	東北大学大学院工学研究科	Vol.32, No. 3, 2005	16
第30回	盛岡	9月25日	那須雅孝	岩手医科大学循環器医療センター	Vol.33, No. 2, 2006	20
第31回	仙台	2006年3月19日	沼田 功	東北大学大学院工学研究科	Vol.33, No. 3, 2006	24
第32回	秋田	9月24日	小松田智也	秋田赤十字病院消化器科	Vol.33, No. 6, 2006	17
第33回	仙台	2007年3月11日	千葉 裕	東北大学大学院工学研究科	Vol.34, No. 4, 2007	29
第34回	仙台	9月30日	小笠原鉄郎	東北大学大学院工学研究科	Vol.35, No. 1, 2008	31
第35回	仙台	2008年3月23日	阿部 眞秀	東北大学大学院工学研究科	Vol.35, No. 4, 2008	33
第36回	山形	9月21日	鶴飼 克明	公立置賜総合病院内科	Vol.36, No. 2, 2009	26
第37回	仙台	2009年3月15日	谷川原真吾	東北大学大学院工学研究科	Vol.36, No. 4, 2009	36
第38回	福島	9月6日	大平 弘正	福島県立医科大学	Vol.36, No. 6, 2009	33
第39回	仙台	2010年3月14日	明城 光三	東北大学大学院工学研究科	Vol.37, No. 4, 2010	35
第40回	仙台	9月26日	千田 信之	東北大学大学院工学研究科	Vol.38, No. 1, 2011	33

会期	開催地	開催日	大会長	事務局	抄録掲載学会誌	演題数
第41回	仙台	2011年3月13日	金井 浩	東北大学大学院工学研究科	Vol.38, No. 5, 2011	31
第42回	横手	9月11日	長沼 裕子	市立横手病院	Vol.38, No. 6, 2011	29
第43回	仙台	2012年3月11日	西條 芳文	東北大学大学院工学研究科	Vol.39, No. 3, 2012	36
第44回	福島	9月23日	鈴木 眞一	福島県立医科大学医学部	Vol.40, No. 1, 2012	24
第45回	仙台	2013年3月10日	室月 淳	東北大学大学院工学研究科	Vol.40, No. 3, 2013	39
第46回	盛岡	9月 8日	小山耕太郎	岩手医科大学附属病院	Vol.40, No. 6, 2013	35
第47回	仙台	2014年3月 9日	梅村晋一郎	東北大学大学院工学研究科	Vol.41, No. 3, 2014	37
第48回	山形	9月21日	鈴木 克典	山形県立中央病院	Vol.42, No. 1, 2014	27
第49回	仙台	2015年3月 8日	菅原 重生	東北大学大学院工学研究科	Vol.42, No. 3, 2015	35
第50回	青森	10月18日	須貝 道博	弘前大学医学部附属病院	Vol.43, No. 1, 2016	45
第51回	仙台	2016年3月13日	小玉 哲也	東北大学大学院医工学研究科	Vol.43, No. 4, 2016	31
第52回	秋田	9月11日	鬼平 聡	秋田大学大学院医学系研究科	Vol.43, No. 6, 2016	35
第53回	仙台	2017年3月12日	高瀬 圭	東北大学大学院医学系研究科	—	33
第54回	福島	9月10日	高野 真澄	福島県立医科大学	—	40
第55回	仙台	2018年3月11日	篠崎 毅	仙台医療センター	—	30
第56回	岩手	10月14日	菊池 昭彦	岩手医科大学医学部	—	33
第57回	仙台	2019年3月 3日	渡辺 隆紀	仙台医療センター	—	32
第58回	山形	9月29日	渡邊 哲	山形大学医学部附属病院	—	34
第59回	仙台	2020年3月 1日	赤羽 武弘	石巻赤十字病院	—	30
第60回	秋田	9月13日	飯野 貴子	秋田大学大学院医学系研究科	—	28
第61回	仙台	2021年3月 7日	虻江 誠	宮城県立がんセンター	—	21
第62回	青森	9月19日	橋本 哲司	青森市民病院	—	
第63回	仙台	2022年3月 6日	赤羽 武弘	石巻赤十字病院	—	
第64回	福島	9月11日	志村 浩己	福島県立医科大学医学部	—	

次回以降の学術集会開催

- | | | |
|---------------|------------|---|
| 第 62 回 | 青森 | 2021 年 9 月 19 日 (日) |
| | 会場 | ねぶたの家 ワ・ラッセ (青森市安方 1-1-1) |
| | 大会長 | 橋本 哲司 (青森市民病院 産婦人科) |
| | 事務局 | 青森市民病院 産婦人科 (青森市勝田 1-14-20) |
|
 | | |
| 第 63 回 | 仙台 | 2022 年 3 月 6 日 (日) |
| | 会場 | 仙台市中小企業活性化センター (アエル 5 階)
(仙台市青葉区中央 1 丁目 3-1) |
| | 大会長 | 赤羽 武弘 (石巻赤十字病院) |
| | 事務局 | 石巻赤十字病院 (石巻市蛇田西道下 71)
Tel : 0225-21-7220 Fax : 0225-96-0122 |
|
 | | |
| 第 64 回 | 福島 | 2022 年 9 月 11 日 (日) |
| | 会場 | コラッセふくしま (福島市三河町 1-20) |
| | 大会長 | 志村 浩己 (福島県立医科大学附属病院) |
| | 事務局 | 福島県立医科大学医学部臨床医学講座 (福島市光が丘 1)
Tel : 024-547-1918 Fax : 024-547-1919 |

日本超音波医学会 東北地方会 奨励賞 選考規程

平成 21 年 5 月 22 日制定
平成 22 年 3 月 14 日改正
平成 22 年 9 月 26 日改正
平成 24 年 9 月 23 日改正
平成 30 年 10 月 14 日改正

1. 目的

超音波医学に関する優れた研究発表を行い、将来超音波医学の発展への貢献が期待される東北地方在住の研究者の育成を目的とする。

2. 名称

本賞は、「日本超音波医学会 東北地方会 奨励賞」と称する。

3. 対象

以下のすべての条件を満たす者を対象にする。

- 一 本地方会学術集会奨励賞応募時、日本超音波医学会の会員（正会員、準会員、学生会員）であること。
- 二 所属施設または居住地が東北地方（青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県）であること。
- 三 本地方会学術集会開催時、満 45 歳以下あるいは大学(学部)卒業後 20 年以内であること。
- 四 正会員が行う症例報告は、地方会学術集会発表時、大学(学部)卒業後 10 年以内 35 歳以下であること。
- 五 本地方会学術集会の奨励賞に応募し、奨励賞審査会で発表を行うこと。
- 六 過去に日本超音波医学会奨励賞または本奨励賞を受賞していないこと。
- 七 過去に論文発表したもの、あるいは過去に他学会で受賞している場合、それらとの研究内容の差が明確であれば受賞の対象となる。

4. 選考手順

- 一 選考委員：選考委員は、本地方会運営委員長が選考し、運営委員会に報告するとともに本地方会 WEB に掲載する。
- 二 応募：応募者は演題応募の際に本賞に応募することを明示する。1 つの施設（病院の診療科、大学の教室または講座分野）からの応募は 1 演題に限定する。
- 三 書類選考：応募演題を選考委員が査読して 5 段階で評価（5 が最優秀）し、上位 6 演題内、かつ平均 3 評点以上の演題を、学術集会における奨励賞審査会での発表演題として選出する。不採択演題は一般演題とする。
- 四 演題発表の審査：本地方会学術集会の午前中に設定する本賞審査会で、候補演題の発表および質疑応答を行う（会員には公開）。選考委員から座長を選び（必要に応じて複数人可）、残りの選考委員は質疑応答に加わる。また、一般参加者からの質疑も可能な限り受けつける。発表終了後、出席した選考委員全員で審査を行い、学術集会毎に 3 名以内の授賞者を選考する。

5. 表彰

- 一 本賞の表彰は、原則として本地方会学術集会中に行い、賞状及び副賞（3 万円）を贈呈する。
- 二 本賞受賞者名、発表演題などは、本地方会 WEB 上に掲載する。

6. 改廃

この規程の改廃は、運営委員会の承認を得なければならない。

歴代の日本超音波医学会東北地方会奨励賞受賞者

会期 (学術集会)	氏名	所属	分野	題目	会員種別
第 1 回 (第 38 回) 2009 年 9 月	柿坂 啓介	岩手医科大学内科学講座 座 消化器・肝臓内科	消化器	非観血的肝線維化診断における ARFI の有用性	正会員
	佐藤 貴子	秋田大学医学部第二内科	循環器	右室心尖部ペーシング施行例における左室壁運動障害の経時的評価	正会員
	二瓶 陽子	福島県立医科大学医学部 附属病院 検査部	循環器	成人期に増悪を認めた大動脈弁下膜性狭窄の二例	準会員
第 2 回 (第 39 回) 2010 年 3 月	佐久間信子	福島県立医科大学 附属病院	循環器	Stretched foramen ovale を介し短絡血流増大を来した Ebstein 奇形の一例	準会員
	末永香緒里	宮城県立こども病院 産科	産婦人科	胎児診断された脊髄髄膜瘤 21 例の超音波所見の検討	正会員
	田村 晴俊	山形大学医学部	循環器	経胸壁心エコーを用いた左心耳壁運動速度の低下は、脳梗塞症例における左心耳内血栓形成の有用な予測因子である	正会員
	長谷川英之	東北大学大学院医工学 研究科	基礎	超音波信号の位相偏移・変化率の同時推定によるラテラル変位計測	正会員
第 3 回 (第 40 回) 2010 年 9 月	佐藤ゆかり	福島県立医科大学附属 病院 検査部	循環器	感染性心内膜炎および敗血症性肺塞栓症を来した右冠動脈瘤一冠静脈洞瘻の一例	準会員
	藤原美貴子	秋田大学大学院医学系 研究科	循環器	疣贅に類似した Amorphous Calcific Tumor の 2 症例	正会員
	宮下 進	宮城県立こども病院 産科/東北大学 大学院 医学系研究科	産婦人科	位相差トラッキングエコー法を応用した、血管径の微小変動計測による胎児循環の評価	正会員
第 4 回 (第 41 回) 2011 年 3 月	大友恵利子	スズキ記念病院 臨床検査科	産婦人科	胎児期に発見された血管輪の一症例	準会員
	奥山 英伸	山形県立新庄病院 循環器科	循環器	心不全患者の心事故予測における入院時及び退院時 E/E 測定の有用性	正会員
	寺田 舞	秋田大学医学部大学院 循環器内科学	循環器	肺動脈弁の感染症内膜炎を合併した左室性単心室の一例	正会員
第 5 回 (第 42 回) 2011 年 9 月	佐藤 和奏	秋田大学大学院医学系 研究科循環器内科・呼 吸器内科	循環器	ステロイド剤投与により心筋壁厚が劇的に変化した二次性心筋症の一例	正会員
第 6 回 (第 43 回) 2012 年 3 月	小澤 克典	宮城県立こども病院 産科	産婦人科	位相差トラッキング法を用いた胎児心機能の計測	正会員
	田淵 晴名	東北厚生年金病院 循環器センター	循環器	左室内駆出血流動態からみた心臓再同期療法有効性の機序	正会員
	佐藤 輝紀	秋田大学大学院医学系 研究科 循環器内科学	循環器	脳膿瘍を発症した体位依存性右左シャントの一例	正会員
第 7 回 (第 44 回) 2012 年 9 月	近江 晃樹	日本海総合病院 循環器内科	循環器	閉塞性肥大型心筋症様の病態を呈するファブリー病の一症例	正会員
	安田 俊	福島県立医科大学 産科婦人科学講座	産婦人科	当院における切迫早産と 'Amniotic Fluid Sludge' の関係に関する検討 (症例報告)	正会員

第 8 回 (第 45 回) 2013 年 3 月	高橋 広樹	東北大学大学院医工学 研究科	基礎	心臓内血流の非侵襲超音波イメージングを 目指した血球エコー成分強調に関する基礎 検討	正会員
	新保 麻衣	秋田大学大学院医学系 研究科	循環器	感染性心内膜炎の病理と類似した転移 性心臓腫瘍の一例	正会員
	小野寺美緒	岩手医科大学内科学講 座	消化器	急性肝炎における超音波組織弾性イメー ジングの有用性 -急性期の肝細胞壊死と炎症 評価に関する基礎的検討	正会員
第 9 回 (第 46 回) 2013 年 9 月	金澤 晃子	太田総合病院附属太田 西ノ内病院	循環器	冠微小循環障害による乳頭筋不全が間歇的 重症僧帽弁逆流の原因と考えられた一例	正会員
	奈良 育美*	秋田大学大学院医学系 研究科	循環器	腫瘍内出血により僧帽弁に嵌頓した左 房粘液腫の 1 例	正会員
	室本 仁	宮城県立こども病院 産科/東北大学大学院医 学系研究科	産婦人科	位相差トラッキング法を応用した胎児 脈波伝播速度計測および脈圧指標の導 入	正会員
第 10 回 (第 47 回) 2014 年 3 月	佐々木 翔也 *	東北大学大学院医工学 研究科	基礎	平面波送信による超音波 RF 信号の非相関を 用いた強力集束超音波の組織凝固モニタリ ング	学生会員
第 11 回 (第 48 回) 2014 年 9 月	高木 亮	東北大学大学院医工学 研究科	基礎	超音波治療ガイドとしての超音波イメー ジングにおける治療用超音波ノイズ除去	正会員
第 12 回 (第 49 回) 2015 年 3 月	堀江佐知子 *	東北大学加齢医学研究 所	基礎	ソノポレーションを利用した Vasohibin-1 遺 伝子導入による抗腫瘍効果の評価	正会員
第 13 回 (第 50 回) 2015 年 10 月	梅田 有里	秋田大学大学院医学系 研究科	循環器	成人例における拡張期肺動脈前方血流の臨 床的意義	正会員
	原田 文	宮城県立こども病院	産婦人科	胎児期の左心低形成症候群が脳血流および 頭部発育に与える影響	正会員
第 14 回 (第 51 回) 2016 年 3 月	阿部 珠美*	岩手医科大学医学部	消化器	慢性肝疾患の線維化評価における Shear Wave Elastography の有用性 -M2BPGi の比較と複合指標の検証-	正会員
第 15 回 (第 52 回) 2016 年 9 月	富安謙太郎	東北大学大学院医工学 研究科	基礎	キャビテーション気泡援用集束超音波治療 中リアルタイム周波数解析による治療領域 の制御	学生会員
第 16 回 (第 53 回) 2017 年 3 月	岩崎 亮祐 *	東北大学大学院医工学 研究科	基礎	超音波加熱治療における治療前焦点領域可 視化の有効性検証	正会員
	藤原 裕大	岩手医科大学内科学講 座	消化器	慢性肝疾患における超音波減衰量イメー ジングを用いた非侵襲的肝脂肪定量化の試み	正会員
第 17 回 (第 54 回) 2017 年 9 月	藤宮 剛	福島県立医科大学	循環器	重症大動脈弁狭窄症における術後収縮能改 善の予測 : global longitudinal strain 改善と術 前 MRI 遅延造影との関連	正会員
第 18 回 (第 55 回) 2018 年 3 月	池田 隼人	東北大学大学院医工学 研究科	基礎	気泡援用集束超音波治療における組織、キ ャビテーションおよび血流成分の分離	学生会員
	林 あかね	東北大学大学院医工学 研究科	基礎	心筋虚血後の数秒間における収縮伝播速度 低下の超音波による検出	学生会員
第 19 回 (第 56 回) 2018 年 10 月	益子 大作 *	東北大学大学院医工学 研究科	基礎	音響力学治療用集束超音波の焦点走査によ る活性酸素生成効率への影響	学生会員
	名取 徳子	岩手医科大学産婦人科	産婦人科	Velocity vector imaging による胎児心機能解 析	正会員
第 20 回 (第 57 回) 2019 年 3 月	該当者なし				

第 21 回 (第 58 回) 2019 年 9 月	新橋 涼*	東北大学大学院医工学 研究科	基礎	細胞の鮮明なイメージングを可能にする高 分解能光音響顕微鏡の開発	正会員
	橋本 直土	山形大学医学部附属病 院	循環器	左房リモデリング指数は急性期脳梗塞患者 の有用な予後予測因子である	正会員
第 22 回 (第 60 回) 2020 年 9 月	小原 優*	東北大学大学院医工学 研究科	基礎	多周波位相差トラッキング法による心筋ス トレインレート計測	学生会員
	谷畑 大貴	東北大学大学院医工学 研究科	基礎	音響放射力イメージングを用いた強力 集束超音波加熱分布推定における組織 依存性	学生会員
	福村 凌一	東北大学大学院医工学 研究科	基礎	リンパ行性薬剤送達法における薬剤浸 透圧変化にともなう転移リンパ節の治 療評価に関する研究	学生会員
第 23 回 (第 60 回) 2020 年 9 月	該当者なし				

* : 新人賞授賞者 (東北地方会)

〈 順序 : 発表順 〉

公益社団法人日本超音波医学会新人賞選考内規

(平成23年 6月24日制定)
(平成24年 3月30日改正)
(平成24年12月21日改正)
(平成25年 4月 1日改正)
(平成25年 4月19日改正)
(平成25年11月29日改正)
(平成26年 8月 8日改正)
(平成27年11月27日改正)
(平成28年 4月 1日改正)
(平成28年11月25日改正)
(令和 2年10月30日改正)

1 目的・意義

新人の医師ならびに工学研究者を対象に、超音波医学に興味と関心を持つ機会を積極的に提供することにより、将来的に超音波医学の臨床ならびに基礎的研究の中心的役割を担う可能性のある有望な人材を発掘することが目的である。

なお、本事業は5年間の経過措置として行い、有効性が認められた場合には継続して行う。

2 名称

本賞は、公益社団法人日本超音波医学会新人賞(以下「新人賞」という)と称する。

3 対象

本賞は、各地方会学術集会において新人賞(公募)に応募し口頭発表された演題とし、症例報告、臨床研究、基礎研究いずれも可とする。

4 応募資格

一 本学会正会員、あるいは正会員になり得る資格を有すること。ただし、受賞候補者として選考された後、受賞の条件として入会を求める。応募は1人1演題とする。

二 医学系は学生又は学部卒業後5年以内、工学系は学生、大学院生又は大学院修士課程修了後5年以内とする(当該地方会での発表時点)。学生の場合は学生証、卒業の場合は卒業年度などを証明する文書の添付を求める。

三 既受賞者は除く。

5 新人賞選考委員会

一 各地方会運営委員長は、新人賞選考委員会(以下「選考委員会」という。)を各地方会に組織する。選考委員は、各地方会運営委員会で選ばれた、各領域(基礎・総合・循環器・消化器・体表・泌尿器・産婦人科・血管)の超音波専門医ならびに超音波工学フェローを含む複数の選考委員により構成される。

二 各地方会運営委員会は地方会学術集会の開催時に新人賞応募演題の公募を行う。公募に際しては、各地方の医育機関や関連学会地方会などに積極的に広報し、より多数の応募者を集めるよう努める。

6 選考

一 各地方会における選考委員会は地方会学術集会での発表時に採点を行い、最高得点取得者1名を新人賞受賞候補者として選ぶ。(同一年に地方会を複数回開催した場合においても、各年につき1名を選出する)ただし、選考対象者と直接利害関係を有する委員は選考に加わらない。

二 新人賞受賞候補者に対して各地方会事務局が受賞の意思および日本超音波医学会への入会などの所定の手続きを終えたことを確認し、領域別の新人賞応募演題数などと共に学会事務局に届け出る。

なお、受賞を希望しない場合には、点数順に次点を繰り上げる。

三 顕彰委員会は、選考委員会より提出された新人賞候補の中から新人賞を決定する。

7 表彰

一 受賞者は受賞該当地方会学術集会後、直近に開催される日本超音波医学会学術集会において学術発表を行い、理事長が表彰する。

二 受賞者には賞状・副賞および日本超音波医学会学術集会参加のための交通費を贈呈する。

三 受賞者本人の学術集会参加費を免除する。

四 止むを得ない理由により受賞者が学術集会に参加できない場合には、必ず代理人が学術発表を行う。

ただし、受賞者が自ら発表しなかった場合には交通費は支給しない。

五 新人賞受賞者名、該当演題名などを本会ウェブサイト等に掲載する。

8 改廃

この内規の改廃は、顕彰委員会、学術集会委員会あるいは地方会委員会の発議により規約担当理事の議を経て、理事会の承認を得なければならない。

附 則

1 この内規は、平成23年 6月24日から施行する。

2 この内規の改正は、平成24年 3月30日から施行する。

3 この内規の改正は、平成24年12月21日から施行する。

4 この内規の改正は、平成25年 4月 1日から施行する。

5 この内規の改正は、平成25年 4月19日から施行する。

6 この内規の改正は、平成25年11月29日から施行する。

7 この内規の改正は、平成26年 8月 8日から施行する。

8 この内規の改正は、平成27年11月27日から施行する。

9 この内規の改正は、平成28年 4月 1日から施行する。

10 この内規の改正は、平成28年11月25日から施行する。

11 本事業は5年間の経過措置として行った結果、有効誠意が認められたため継続して行うこととする。

12 この内規の改正は、令和 2年10月30日から施行する。

公益社団法人 日本超音波医学会新人賞授賞候補者 東北地方会選考規程

(平成 23 年 9 月 11 日制定)

(平成 24 年 9 月 23 日改正)

(平成 25 年 3 月 10 日改正)

(平成 25 年 4 月 1 日改正)

(平成 25 年 9 月 8 日改正)

(平成 26 年 3 月 9 日改正)

(平成 28 年 4 月 1 日改正)

(平成 30 年 10 月 14 日改正)

1. 目 的

新人の医師ならびに工学研究者を対象に、超音波医学に興味と関心を持つ機会を積極的に提供することにより、将来的に超音波医学の臨床ならびに基礎的研究の中心的役割を担う可能性のある有望な人材を発掘することを目的とする。

本事業は5年間の経過措置として行い、有効性が認められた場合には継続して行う。

2. 名 称

本賞は、公益社団法人日本超音波医学会新人賞(以下「新人賞」という)と称する。

3. 対 象

新人賞授賞候補者(以下「授賞候補者」という)は、日本超音波医学会東北地方会学術集会において奨励賞に応募し口頭発表された演題の中で、本賞の応募資格を満たすものとする。症例報告、臨床研究、基礎研究いずれも可とする。

4. 応募資格

- 一 本学会正会員、あるいは正会員になり得る資格を有すること。但し、授賞候補者として選考された後、授賞の条件として入会を求める。応募は1人1演題とする。
- 二 所属施設または居住地が東北地方（青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県）であること。
- 三 医学系は学生または学部卒業後5年以内、工学系は学生、大学院生または大学院修士課程修了後5年以内とする（本地方会での発表時）。学生の場合は学生証、卒業の場合は卒業年度などを証明する文書の添付を求める。
- 四 本賞および東北地方会奨励賞の既受賞者は除く。

5. 新人賞授賞候補者選考委員会(以下「選考委員会」という)

- 一 選考委員会: 選考委員は東北地方会運営委員長が指名し、各領域（基礎・総合・循環

器・消化器・体表・泌尿器・産婦人科・血管)の超音波専門医ならびに超音波工学フェローを含む複数の選考委員により構成される。

二 運営委員会は地方会学術集会の奨励賞公募時に、新人賞の応募資格を満たすものについては、奨励賞と同時に授賞候補者の対象となることを公示する。公募に際しては、医育機関や関連学会地方会などに積極的に広報し、より多数の応募者を集めるよう努める。

6. 選考

一 選考委員会は春および秋の東北地方会学術集会での発表時に対象者について採点を行い、秋の学術集会において2つの学術集会の候補者の中から最高得点取得者1名を授賞候補者として選ぶ。ただし、選考対象と直接利害関係を有する委員は選考に加わらない。

二 授賞候補者に対して地方会事務局が受賞の意思および日本超音波医学会への入会などの所定の手続きを終えたことを確認し、領域別の新人賞応募演題数などと共に学会事務局に届け出る。なお、受賞を希望しない場合には、点数順に次点を繰り上げる。

三 公益社団法人日本超音波医学会の顕彰委員会において、授賞候補者の適格性を確認した上で新人賞授賞者(以下「授賞者」という)を決定する。

6. 表彰

一 授賞者は授賞該当地方会学術集会後、直近に開催される日本超音波医学会学術集会(以下「全国大会」という)において学術発表を行い、理事長が表彰する。

二 授賞者には公益社団法人日本超音波医学会が賞状及び副賞(金五万円)および全国大会参加のための交通費を贈呈する。

三 授賞者本人の全国大会参加費を免除する。

四 止むを得ない理由により授賞者が全国大会に参加できない場合には、必ず代理人が学術発表を行う。但し、授賞者が自ら発表しなかった場合には交通費は支給しない。

7. 改廃

この内規の改廃は、運営委員会の承認を得なければならない。

公益社団法人日本超音波医学会 東北地方会 功績賞 選考内規

(平成 23 年 9 月 11 日制定)

(平成 25 年 4 月 1 日改正)

(平成 28 年 4 月 1 日改正)

1. 目 的

超音波医学に関する特別の功績があり，日本超音波医学会 東北地方会の発展に寄与した者の顕賞を目的とする。

2. 名 称

本賞は，「日本超音波医学会 東北地方会 功績賞」と称する。

3. 対 象

以下のすべての条件を満たす者を対象にする。

- 一 超音波医学に関する学術又は関連事業に関し，特別の功績があり，その功績が顕著である者
- 二 長年にわたり日本超音波医学会の会員（正会員，準会員）であること
- 三 本賞選考時に所属施設または居住地が東北地方（青森県，岩手県，秋田県，宮城県，山形県，福島県）にあること
- 四 過去に本学会 特別学会賞，松尾賞を受賞していないこと
- 五 本学会 名誉会員，功労会員でないこと

4. 選 考

- 一 選考委員会：選考委員は東北地方会運営委員長が指名し，運営委員会に報告する。
- 二 選考委員会は，運営委員より推薦された対象者について選考作業を行い，日本超音波医学会 東北地方会 功績賞 受賞候補者を決定し，運営委員会へ推薦する。

5. 決 定

東北地方会運営委員会は，選考委員会の推薦に基づき，日本超音波医学会 東北地方会 功績賞の授賞に値する者を決定する。

6. 表 彰

- 一 日本超音波医学会 東北地方会 功績賞に関する表彰は，原則として東北地方会学術集会中に行い，賞状および副賞を贈呈する。
- 二 本賞受賞者名，授賞に至った業績などは，本地方会 WEB 上に掲載する。

7. 改 廃

この内規の改廃は，運営委員会の承認を得なければならない。

日本超音波医学会東北地方会功績賞受賞者

受賞年月	氏名	所属	会員種別
2011年9月	吉田 泰夫	秋田大学工学部電気電子工学科	正会員